様式第4号（第2条・第3条関係）

（表面）

記入例

児童手当・特例給付　額改定認定請求書 額　改　定　届

提出年月日	※受付確認年月日
令和 4・4・5	令和　・　・

鹿屋市長　殿

受給者	（ふりがな）	かのや　たろう	住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒893-890 鹿屋市共栄町20番1号 電話　0994(43)2111	
	氏名（法人名等）	鹿屋　太郎			
	性別	男・女	生年月日	昭和 平成 1・1・1	加入している公的年金制度の種別
	職業	ア．被用者 イ．公務員 ウ．被用者等でない者			

ア．厚生年金保険　イ．国民年金
※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。　ウ．その他（　　）
（　）私立学校教職員共済
（　）国家公務員共済
（　）地方公務員等共済

ア．社会保険（協会けんぽ、組合保険等）→厚生年金
イ．公務員
ウ．国保、被扶養者　→国民年金

増　額　・　減　額

なる児童

該当するところに○をつける

氏						住所	有無	関係	との関係 ※該当する場合に○印
鹿屋　三郎	子	平成 令和 4・4・1	同・別	平成 令和 年 月		同上	有・無	同一・維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母
		平成 令和 ・ ・	同・別	平成			有・無	同	・未成年後見人 ・父母指定者
		平成 令和 ・ ・	同・別	平成 令和 年 月					

受給者と児童が別居している場合は別居先住所をご記入ください。
※その場合は、「**別居監護申立書**」が必要となります。

※「監護」・「生計」について
監護：請求者がお子さんの身の回り の世話や教育をしていること

生計：
●「同一」お子さんが請求者の子で請求者がその子と生計を同じくしていること
●「維持」お子さんが請求者の子ではないが、請求者がその子の生活費の大半を支出していること
※この場合、「**監護・生計維持申立書**」が必要です。

増額した理由	ア．出生 イ．その他（
減額した理由	ア．死亡した イ．監護しなくなった ウ．生計を同じくしな エ．生計を維持しなくなった オ．日本国内に住所を有しなくなった（留学を理由とするものを除く） カ．未成年後見人でなくなった ケ．児童と同居しなくな（単身赴任の場合を除 コ．その他（

該当するところに○をつける

事由の発生した年月日	令和 4・4・1

備考		※認定・改定・却下	※認定・改定・却下年月日	※認定・改定	※手当月額
			令和　・　・	令和　・	3歳未満分　円 3歳以上小学校修了前分　円 中学生分　円 計　円

該当した日を記入

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。
◎　※印の欄は、記入しないでください。
◎　字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。

（日本産業規格A列４番）